

## 事業名：道路橋梁再整備事業（緊急経済対策）

都市建設課 道路整備係

政策	04 安全で快適な都市生活の充実								
施策	02 交通環境の充実								
基本事業	01 安全で快適な道路づくり								
開始年度	平成25年度	終了年度	—	実施計画 事業認定	非対象	会計区分	一般会計	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
道路（市道）	
手段（事務事業の内容、やり方）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・国の緊急経済対策事業として、舗装の老朽化が著しい幹線道路において舗装修繕工事（オーバーレイ）を施工する。</li> <li>・なお、社会資本整備総合交付金事業「防災・安全社会資本整備交付金」として国の補助を受けて実施する。（補助率：6/10）</li> </ul>	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
車道部舗装の修繕（オーバーレイ）を実施することで、車両の安全な通行環境等を確保する。	

指標・事業費の推移						
区分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度当初
対象指標1	幹線道路延長	km	0	0	98.1	0
対象指標2	舗装修繕が必要な道路延長	km	0	0	13.4	0
活動指標1	当該年度修繕対象道路延長	km	0	0	1.7	0
活動指標2						
成果指標1	修繕が完了した道路の割合	%	0	0	40.3	0
成果指標2						
事業費(A)		千円	0	0	85,606	0
正職員人件費(B)		千円	0	0	2,344	0
総事業費(A+B)		千円	0	0	87,950	0

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
25年度	白樺通り、江南通り、公園通りの舗装修繕工事	道路等工事費 80,892千円

<b>事業を取り巻く環境変化</b>	
<b>事業開始背景</b>	
国の緊急経済対策事業として、舗装の老朽化が著しい幹線道路において舗装修繕工事（オーバーレイ）を施工し、安全な通行環境等を確保するものである。	
<b>事業を取り巻く環境変化</b>	
大型車両等の多い幹線道路では、舗装の老朽化が進んでいる状況である。	

<b>平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）</b>	
<b>(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？</b>	
<input checked="" type="radio"/> 妥当である <input type="radio"/> 妥当性が低い	<b>理由根拠</b> 道路管理者である市が実施することが妥当であるため。
<b>(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？</b>	
<input checked="" type="radio"/> 貢献度大きい <input type="radio"/> 貢献度ふつう <input type="radio"/> 貢献度小さい <input type="radio"/> 基礎的事務事業	<b>理由根拠</b> 道路の計画的な舗装修繕により、道路ネットワークの安全性・信頼性が確保されるため。
<b>(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？</b>	
<input checked="" type="radio"/> 上がっている <input type="radio"/> どちらかといえば上がっている <input type="radio"/> 上がらない	<b>理由根拠</b> 計画に沿って事業が進められているため。
<b>(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？</b>	
<input type="radio"/> 成果向上余地 大 <input type="radio"/> 成果向上余地 中 <input checked="" type="radio"/> 成果向上余地 小・なし	<b>理由根拠</b> 成果を向上させるためには、予算措置が必要となるため。
<b>(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算+所要時間）を削減する方法はありませんか？</b>	
<input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> なし	<b>理由根拠</b> ・北海道積算システムの導入により事務処理の迅速化を図っており、また設計単価等についても統一単価を使用しており削減は難しい。